

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オリーブの木TOYOTSU		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2025年 1月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっており 子ども達の活動に合わせた空間になっている。	・子どもたちが「やってみたい」という意欲がもてるような環境づくりを工夫している。 ・感覚統合を取り入れつつ、季節に応じた活動(伝承遊び、夏→色水・氷、冬→氷つくり、戸外)などをおこなっている。	・今後も支援計画、子どもの発達に応じ定期的に空間、環境設定を変えていき、 子ども達自ら能動的に行動ができるように配慮していきます。 ・子どもの声を環境に取り入れていくよう努めます。
2	・支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日に行われる、支援の内容や役割分担について、確認し、チームで連携して支援を行っている。	・職員間で「知らなかった」がないよう、伝達ノート、支援会議、その都度打ち合わせを行い準備など行っている。 ・支援終了後はフィードバックを実施し、次の支援へとつなげている。	・今後も療育内容や利用児童のエピソードを振り返り、次の支援に繋げたい。 ・伝達ノートを活用しつつ、人的環境を整えていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラムや家族なども参加できる研修会や情報提供の機会当の改善が必要だと思われる。	他事業所で開催される研修情報を掲示のみの提供だった。	今後、保護者さんや訪問者さんが見やすい位置に掲示したり、保護者との連絡ツールを活用し提供の仕方を工夫していきたい。
2			
3			